

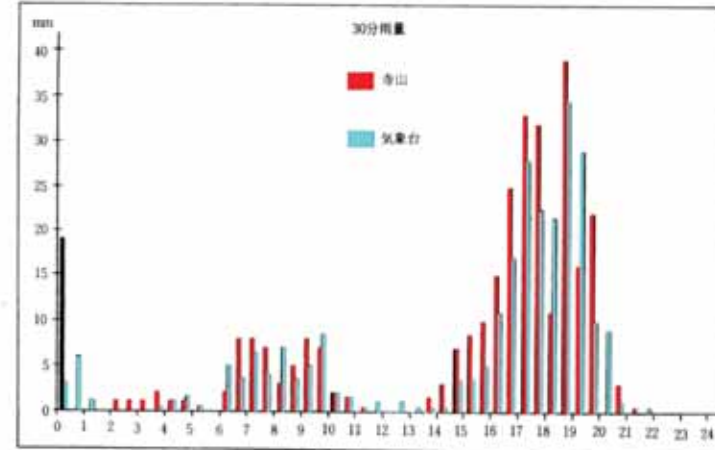
# 「元気な」鹿児島県を目指して

夢のあるまちづくり



- 1. はじめに
- 鹿児島県は日本の47都道府県の一つで、日本本土最南端にあります。
- 鹿児島県は、かつては島津藩のころより、この美しい風土が世界に羽ばたく薩摩を育ててきました。
- しかしこの地は台風銀座と呼ばれ災害常習地帯でもあり、災害は克服すべき大きな課題であります。
- 今はNHKの篤姫でにわか人気はありますが鉄は熱いうちに打てと申しますが、となりの宮崎も人気のうち相乗効果で観光かごしまをどけんかせんといかんと思います。
- そこで鹿児島市内中心より北側に位置する仙巖園前付近の一般国道10号北バイパス(4 km)の事業について以下に私の意見として述べます。

# 2. 国道10号線の道路状況



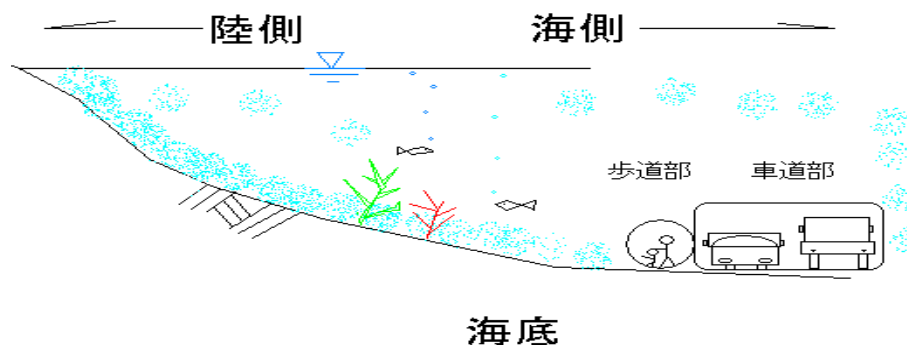
1993年の8/6水害の時の災害とその時の雨量

# 3. 計画との問題点

- 国道10号線は、本県の道路交通の大動脈として日夜活躍していますが、鹿児島市付近の渋滞は激しく解消のためのバイパスが計画されてます。
- 1993年の鹿児島豪雨では5時間で200mm以上の今で言うゲリラ雨であり、崖の近くの国道で緑化が進んだ法面でもシラス台地では災害が起こりやすいわけです。
- そこで海側に海底トンネルの計画されました。

## 4. 道路計画の私のアイデア

この計画をただ単に、渋滞解消、災害に強い道路とするだけでなく、自然の恵みを最大限に活用した海中展望のような夢のある歩道を計画することによって、観光的にも国民の癒しの場として飛躍的に、国道10号の価値を高めることとなるでしょう。



# 錦江湾の海の中のようす

南国特有の生物が宝庫です。





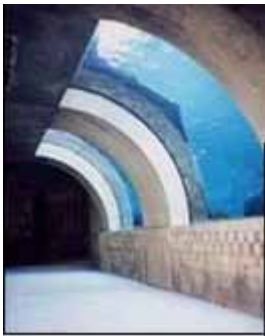
車道部だと排気ガスでメンテナンスが大変で安全性に劣るため歩道部で考えました。

アクアウォールやアクアトンネルという名称で使用材料はアクリル板を特殊な接着剤で何枚も積層してこれに対して透明度を落とさずに加工できる技術は日本は世界一だそうです。

また製品の生産量と技術力は世界のトップレベルで特長は透明度の高さと耐候性がよく、太陽にあたって黄色くなったりボロボロになったりしません。

実績は「しんかい16500」の窓に使用され、北海道の旭山動物園・大阪の海遊館・沖縄の美ら海水族館等の日本の70%を占める会社が香川県にあるそうです。

具体的には、全体の断面図と平面図等の色々な計画はみんなの意見を参考に決める事であり、これからの課題です。



# 5. 親しみのある公共事業

- 人が集まり楽しめる公共事業 鹿児島島の10号線で渋滞緩和と災害回避のため磯地区に海底トンネルのバイパス案が計画されていますが未来の子供達に日本の技術を伝えて夢を与えなくてはならないと私は近頃特に考えます。錦江湾には南国特有の海洋生物が沢山あります。すぐれた豊かな自然の恵みを学習の場・観光に活用すべきです。
- 旭山動物園や海遊館等の巨大水槽の技術を応用すればたとえ台風銀座の鹿児島でも湾内であり、本坑(車道)を防波堤がわりにその内側に見せるトンネル(歩道)を設置すれば自然にも打ち勝てるのではないのでしょうか。



## 6.おわりに

- 自然災害に対する安全性の確保と国民の目線で考え皆で計画・実行しなければならない。
- 人工的な水族館は存在するが自然のようすを直に接する場を設け学習や憩いの場を国民参加の立場で提供する事が大切ではないでしょうか。
- この計画が実現できるよう、これからの社会資本の整備を着実に進めていくことが不可欠と考えます。